

(3) 研修内容

- 講演「学校教育と社会教育との連携」、「集団宿泊研修とその効果」
- 講義「青年の家における研修」、「キャンプ(キャンドル)ファイヤーのもち方」
- 演習「研修プログラムの編成」、「キャンプ(キャンドル)ファイヤー」
- 実技「ポイントオリエンテーリング」、「スコアオリエンテーリング」、「フィールドワーク」
- 事例発表 小・中・高校教員各1名
- 野外活動施設見学

2 野外活動研修会 (青少年教育実技指導者研修会)

(1) 目的

青少年教育における指導者の野外活動実技指導の技術の向上をはかるため、実技に関する専門的知識や技能および指導法について研修する。

(2) 期日・会場・参加者

- ア 期日 昭和56年7月22日～24日 2泊3日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象と人員 教職員、社会教育関係団体・企業体・グループ等のリーダー、在学青年（高校生以上）、勤労青年 19名

(3) 研修内容

- 講義「キャンプ指導者論」、「野外教育方法論」、「救急論」
- 実技「テント設営・撤収」、「キャンプファイヤー」、「サイクリングオリエンテーリング」、「救急実技」

3 親と子・海浜のつどい

(1) 目的

親と子で大自然に親しみながら、海浜でのレクリエーション、共同生活をとおして、望ましい親子関係を深める。

(2) 期日・会場・参加者

- ア 期日 昭和56年8月1日～2日 1泊2日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象と人員 親と子（親1名につき小・中学生3名以内） 117名

(3) 研修内容

- 講義「親と子の望ましい関係」
- 実技「海水浴」、「海浜レクリエーション」、「砂の芸術」、「キャンプファイヤー」

4 レクリエーション研修会 (青少年教育実技指導者研修会)

(1) 目的

青少年教育における指導者のレクリエーション指導技術の向上をはかるため、レクリエーションに関する専門的知識・技能および指導法について研修する。

(2) 期日・会場・参加者

- ア 期日 昭和56年9月24日～27日 3泊4日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象と人員 教職員、社会教育関係者、社会教育関係団体・企業体・グループ・サークル等のリーダー、勤労青年 32名

(3) 研修内容

- 講義「現代社会とレクリエーション」、「青少年団体の指導」、「レクリエーション指導者のあり方」、「レクリエーションの指導理論」
- 演習「レクリエーション・プログラムのたて方」
- 実技「グループワーク・トレーニング」、「ゲームと軽スポーツ」、「フォークダンス」、「キャンドルファイヤー」、「レク・ソング」

5 勤労青年のつどい

(1) 目的

集団宿泊生活をとおし勤労青年の友情の輪を広げ地域・職場における青年の果すべき役割の自覚と、グループ活動参加への意欲向上をはかる。

(2) 期日・会場・参加者

- ア 期日 昭和56年10月23日～25日 2泊3日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象と人員 県内の勤労青年男女 41名

(3) 研修内容

- 講演「勤労青年と生きがい」
- 講義「地域社会と勤労青年」
- 研究協議「地域・職場における青年の役割について」
- 実技「キャンドルファイヤー」、「インディアカ」、「オリエンテーリング」

6 集団宿泊指導担当者研修会 (社会教育関係)

(1) 目的

社会教育関係者が「集団宿泊研修」の効果的な運営のしかたと施設の利用について研修し、あわせて青年の家についての理解を深める。

(2) 期日・会場・参加者

- ア 期日 昭和56年11月19日～20日 1泊2日
- イ 会場 福島県海浜青年の家
- ウ 対象と人員 社会教育主事、公民館主事、社会教育関係者、青年団体リーダー、青年を中心としたサークルのリーダー、企業体の研修担当者、子ども会・少年団体育成会リーダー 18名

(3) 研修内容

- 講義「集団宿泊研修の意義」、「青年の家における研修」
- 研究協議「施設利用事例発表」
- 実技「サイクリング(野外施設見学)」